



1 工期内の完了に向けてスケジュールを管理。プロジェクトに関わるあらゆる人々と連絡調整ができるコミュニケーション力が求められる 2 現場に向かう前に「安全管理」と「品質管理」を再確認。社内には若い世代が多く、気になることがあれば気軽に周囲に相談することができる。熱中症や感染症など、健康管理にもお互いに気を配り合う 3 現場では協力会社との「報連相」が欠かせない。責任が大きいからこそ、無事に完成した時の達成感は格別だ 4 施工管理は屋内での書類作業も多く、デジタル化も進んでいる 5 二本松市内の羽石高架橋(国道459号橋)で行われている補修工事現場。OJTやジョブローテーションの経験は、土木施工管理技士などの資格取得にも役立つ

## 数字で見る小野工業所

働きやすさをデータでチェック

平均年齢

33.4歳

※2025年12月現在(正社員)

年間休日

125日

※2025年実績

有給取得  
平均日数

12.1日

※2024年実績

育児休業  
取得率

男性 75% 女性 100%

※2024年実績

## 【会社情報】

- 設立 1994年6月9日
- 代表取締役社長 小野 雅亮
- 資本金 5,300万円
- 従業員数 116名(内役員8名)  
(2025年12月現在)

〒960-2261  
福島県福島市町庭坂字堀ノ内3-1  
TEL/024-591-1001  
FAX/024-591-1842

- 求人対象  
高卒 専門卒 短大卒  
大卒 中途 大学院 (長期3年以上)
- インターンシップ  
可能【体験期間】1日(随時受付中)  
【申込方法】マイナビ、またはTEL、E-mail

- 採用担当者連絡先  
TEL/024-591-1001  
E-mail/ono-jinji@ono-net.co.jp

## 業務内容

### ●特定建設業・コンクリートモビル事業

### ●土木部

施工管理(安全管理、品質管理、出来形管理、工程管理、原価管理、他)

### ●技術部

現場調査、修正設計、床板設計・施工、製品営業、技術開発

### ●保全工事部

橋梁補修工事、資材管理、重機オペレーター

# 株式会社小野工業所

土木インフラメンテナンス(橋梁維持修繕、一般土木、鋼構造物、塗装、舗装)他



採用情報・  
各種申し込み・  
問い合わせは  
こちらから



「インフラを守る」使命感をもって20~30代が施工管理者として活躍中。外国人技術者も在籍している

作り続ける時代から  
維持する時代へ

明治22年に創業し、136周年を迎えた『小野工業所』。現在は福島と東京にて事業を展開。社会インフラの建設・維持・修繕を通じて暮らしや安全を守り、地域発展に貢献している。「作り続ける時代から、維持する時代へ」という社会的な要請に応え、特に橋梁保全の分野に注力。国が行う公共工事では東北地方トップクラスの実績を誇る。最大の特徴は、20・30代の若手社員が技術職の核として活躍していること。入社後は手厚い支援のもと多くの若手が国家資格を取得。現場トップである監理技術者や主任技術者として、数億円規模の工事を指揮監督している。地図に残るやりがいを感じ、若い力と確かな技術で、次の100年に向けて持続可能な社会の実現へ歩み続ける。

長く安心して働ける  
環境も魅力

同社では、社員が公私ともに充実した生活を送れるよう、建設業界に先駆けた働き方改革に取り組んでいる。年間休日125日確保に加え、残業時間削減や有給休暇の取得促進を実施してきた。育児休業も男女問わず高い実績があり、家族との時間を楽しみながらキャリアを築くことができる。また、将来の資産形成を支援する「企業型確定拠出年金制度」(会社が毎月2万円拠出)や家賃補助、社有車や携帯の貸与など、生活を支援する福利厚生も充実。資格取得支援を行っており、業務上必要な資格の受験費用や講習代を会社が全額支援し、社員のスキルアップを支えている。こうした環境づくりを通じて、社員一人ひとりが安心して成長し続けられる職場を実現している。

地図に残り、  
未来に誇れる仕事  
次の100年に、  
橋渡ししよう